

## 会場とその周辺レポート(ASCI2010 台北)

### 小林靖宏

日本医科大学付属病院放射線科

まず、日本語と私のつたない英語でもコミュニケーションがとれる親切な台湾人に先ず感謝したい。

あれだけ地図上わかりやすい会議場でありながら、周囲の建造物に目をとられ(たとえば駅おりにすぐの国父記念館など)恥ずかしながら迷ってしまった。

台湾の地下鉄はとてもきれいで広々としており IC チップが埋め込まれたコインを使って乗車する。最寄りの駅を降りると国父記念館とその周囲によく手入れされた公園が広がり、ポスター貼りに早めに向かったこともあって朝早くから大勢のご婦人たちが太極拳をしている場面に遭遇した。

台湾の町並みは想像とは違って(場所によっては東京より全然きれいであり、ゴミ一つ落ちていない)、会場であった台北国際会議中心の周囲には **taipei101** という超高層ビルがそびえて実に近代的な印象をうけた。

その近隣には三越のデパートなど新宿東口のようにガラス張りのおしゃれなビルが並んでいた(とはいえ、一歩路地を入ると露天が立ち並ぶオリエンタルな下町が広がっていたが)。

高層ビルの一角には台湾一と言われる大手書店が入っており、医学書コーナーをみると、さすがにお国柄ということもあり漢方・鍼灸の書籍がずらっとならんでいた。もちろん主要な洋書もみられ、「哈里遜 内科学手冊」なども取りそろえてあった。

台湾にきて感じたことが 2 つある。

まずはその信仰心の深さである。宿泊施設の近くに龍山寺という古刹があったのだが、朝も夜中も大勢の参拝者が訪れており、熱心にお経やらお焼香やらをされていた。ご高齢の方々はもちろん、若者も当たり前のように参拝している。台湾人は実に信仰心が強く、文化を大切にす人種なのだといたく感銘をうけた。

もうひとつは原付二輪の台数が異常に多い。

1 回の赤信号で 50 台は原付が停車するだろうか。駐輪場なのかどうかはわからないが道路沿いに 100m ほど原付が停車している様は圧巻であった。ちょっと排ガスでのを痛めてしまった。

なお蛇足ではあるが、ホテルの LAN を使用しても google 検索が使用できた。